

平成27年度 財 産 目 録

平成28年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘 定 科 目 ・ 概 要			金 額 (単位:円)		
<b>I 資産の部</b>					
<b>1 流動資産</b>					
現 金	手許現金有高		106,828		
普 通 預 金	北洋銀行 栗山支店 空知信用金庫 栗山支店		2,500,259 67,221		
流動資産合計				2,674,308	
<b>2 固定資産</b>					
建 物	事務所 内装工事		567,875		
構 築 物			1,264,032		
車 輛 運 搬 具	マイクロバス 1台		2,410,520		
什 器 備 品	事務所内 備品一式 他		165,073		
固定資産合計				4,407,500	
資産合計(A)					7,081,808
<b>II 負債の部</b>					
<b>1 流動負債</b>					
短 期 借 入 金	理事長 鈴木貴浩		1,200,000		
預 り 金	岩見沢税務署 源泉所得税		203,728		
流動負債合計				1,403,728	
<b>2 固定負債</b>					
長 期 借 入 金	北洋銀行 栗山支店 日本政策金融公庫		793,000 2,938,955		
固定負債合計				3,731,955	
負債合計(B)					5,135,683
正味財産(C) = (A) - (B)					1,946,125

別記第5号様式の2（第2条関係）

平成28年 6月 30日

北海道知事 様

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ
代表者の氏名	鈴木 貴 浩 印
電話番号	(0123) 72 - 6655

事業報告書等提出書

次に掲げる前事業年度（27年 4月 1日から 28年 3月 31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条第1項の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の財産目録
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の収支計算書
- 5 前事業年度の役員名簿
- 6 前事業年度の社員のうち10人以上の者の氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）及び住所又は居所を記載した書面

平成27年度事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

1 事業の成果

・クラブチーム運営事業

昨年度も高校生年代が2つの全国大会に出場という成績を残せた。青少年の技術の向上及び目的達成意欲の向上が達成できたことは評価できる。また例年同様、さらなる向上意欲をもてるようなクラブ組織の充実化・ハード面の充実化を図れるような努力をし、すべての年代が常に今より上に・・・という活動を続けていきたいと考えています。一方、少子高齢化という現実にも直面している傾向がある。下記における事業の発展するものの、我がクラブチームの『矛盾』とも思える活動には痛みも伴う・・・。生涯スポーツと競技スポーツ。想いは、両輪で進んでいきたい・・・、結論はでないもののこの矛盾と闘い継続し続けることに意味があると考えているので、焦らず両輪で進んでいける活動を目指し創意工夫をしながらスポーツクラブとしての活動を継続していきたい。

・スポーツの普及及び振興に関する事業

平成27年度は新規雇用を2名採用し更なる発展に向けチャレンジした。サッカーの力、スポーツの力！サッカーを中心とした活動から『真』のスポーツクラブに発展し充実させることができ、活動種目も増加し飛躍することができました。少子高齢化というネガティブなイメージをチャンスと捉え、子供も高齢者もみんなつながっているという認識の中で、総合型地域スポーツクラブの可能性を拡げていきたい。地域住民のニーズに応えられるような活動を考え、より多くの方たちに生涯スポーツに親しみ、運動で健康や笑顔が増えるような街づくりに寄与できるように、上記同様に継続と発展を焦らずに実施していこうと思います。ただ、新規採用した2名が退社し、クラブ組織としての課題も見つかりました。次年度はスポーツ振興くじ助成金申請も取下げたので、上記の理想と現実のバランスを考え、無理せず進んでいこうと

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
サッカーを中心とする、各スポーツ競技のクラブチーム運営事業	サッカークラブチームU-15(中学生)・U-18(高校生)・TOP(成人)・レディース(女子)の技術指導及び運営管理	平成27年4月1日から平成28年3月31日	栗山町及び空知近郊地域	7	栗山町及び空知近郊地域の中学生・高校生・一般成人の男女91名	1,600
サッカーを中心とする、各スポーツの普及及び振興に関する事業	サッカースクールキッズ(幼児)・ジュニア(小学生)・シニア(成人)の技術指導及び運営管理	平成27年4月1日から平成28年3月31日	栗山町及び空知近郊地域	7	栗山町及び空知近郊の幼児・小学生・一般成人の男女29名	400

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
スポーツ用品の販売事業	なし	なし	なし	なし	なし

平成27年度 特定非営利活動に係る事業に関する会計 貸借対照表  
平成28年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘定科目・概要	金額 (単位:円)	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金及び預金	2,674,308	
流動資産合計		2,674,308
2 固定資産		
建物	567,875	
構築物	1,264,032	
車両運搬具	2,410,520	
什器備品	165,073	
固定資産合計		4,407,500
資産合計(A)		7,081,808
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
短期借入金	1,200,000	
預り金	203,728	
流動負債合計		1,403,728
2 固定負債		
長期借入金	3,731,955	
固定負債合計		3,731,955
負債合計(B)		5,135,683
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産		1,704,916
当期正味財産増加額		241,209
正味財産合計(C)		1,946,125
負債及び正味財産合計(B) + (C) = (A)		7,081,808

平成27年度 その他の事業に関する会計 貸借対照表

平成28年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘 定 科 目 ・ 概 要	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
流動資産合計	0	
資産合計(A)		0
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計	0	
負債合計(B)		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	0	
当期正味財産増加額	0	
正味財産合計(C)		0
負債及び正味財産合計(B) + (C) = (A)		0

平成27年度 特定非営利活動に係る事業に関する会計 収支計算書  
平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘定科目・概要	金額 (単位:円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員	0	
賛助会員	0	0
2 事業収入		
クラブ・スクール収入	20,540,245	
大会・イベント・遠征会費	5,209,000	
その他収入	5,417,980	31,167,225
3 寄付金収入		
寄付金	6,052,149	
4 補助金収入	1,822,000	7,874,149
経常収入合計(A)		39,041,374
II 経常支出の部		
1 事業費		
コーチ報酬	1,080,000	
車両経費	2,405,968	
その他事業支出	21,834,842	25,320,810
2 管理費		
給料手当	11,615,000	
法定福利費	1,739,075	
その他管理支出	125,280	13,479,355
経常支出合計(B)		38,800,165
経常収支差額(C) = (A) - (B)		241,209
III その他資金収入の部		
その他資金収入合計(D)		
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計(E)		
当期収支差額(F) = (C) + (D) - (E)		241,209
前期繰越収支差額(G)		0
次期繰越収支差額(F) + (G)		241,209
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
当期収支差額		241,209
増加額合計(H)		241,209
VI 正味財産減少の部		
減少額合計(I)		0
当期正味財産増加額(J) = (H) - (I)		241,209
前期繰越正味財産額(K)		1,704,916
当期正味財産合計(J) + (K)		1,946,125

平成27年度 その他の事業に関する会計 収支計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

特定非営利活動法人 サンクススポーツクラブ

勘 定 科 目 ・ 概 要	金 額 (単位:円)	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
経常収入合計(A)		0
II 経常支出の部		
1 事業費		
その他事業支出	0	
2 管理費		
その他管理支出	0	
経常支出合計(B)		0
経常収支差額(C) = (A) - (B)		0
III その他資金収入の部		
その他資金収入合計(D)		
IV その他資金支出の部		
その他資金支出合計(E)		
当期収支差額(F) = (C) + (D) - (E)		0
前期繰越収支差額(G)		0
次期繰越収支差額(F) + (G)		0
(正味財産増減の部)		
V 正味財産増加の部		
当期収支差額	0	
増加額合計(H)		0
VI 正味財産減少の部		
減少額合計(I)		0
当期正味財産増加額(J) = (H) - (I)		0
前期繰越正味財産額(K)		0
当期正味財産合計(J) + (K)		0